

(136 頁より続く)

武岩的と報告している事実とは一致しない。むしろ月面は軽石的で岩石学的には酸性岩に近い値を示している。月面のルナ9号の観測値は嵐の大洋の一部であるが、Lyot の値は月の全面についての平均値であるから、この点を考慮に入れる必要はある。

6. まとめ

こうして、地球上の岩石、天来の隕石、月面の物質を比較してみると、偏光度に関する限り、位相角60°における月面中央付近の表面状態は、④の花崗岩と①の軽石(流紋岩)の中間物質に似ている。位相角90°についても同じ結果が求められる。

このことは、月面全体についての偏光度の平均値が珪酸塩を多く含む酸性岩的な物質を意味するものではあるまいか。月面の各部分についての偏光度の測定結果は昭和39年11月14日、日本天文学会年会において“月面偏光度の研究”としてその一部⁴⁾を発表した。

この実験的研究において、古畑正秋、宮本正太郎両先生から懇篤な御指導を賜わった。また実験設備を提供して下さい下さった福島久雄先生に心から感謝の意を表わしたい。

文 献

- 1) 「砂の物理的研究」早川和夫、柏村正和、北大工学

部研究報告第22号、昭和34年。

- 2) 「光球内隕石の研究」早川和夫、北海学園大学論集第9号、昭和40年。
- 3) 「地球岩石および隕石表面における反射光中の偏光成分に関する物理的研究」早川和夫、北海学園大学論集第8号、昭和39年。
- 4) 「月面におけるPlato平原の偏光度に関する研究」早川和夫、北海学園大学論集第10号、昭和41年。

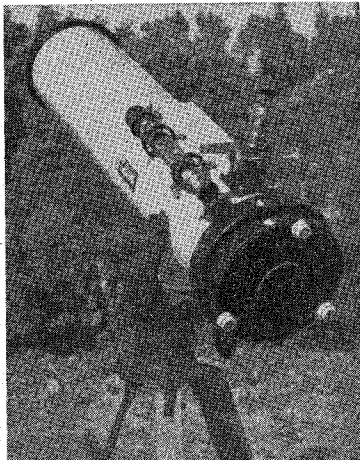
雑 報

第7期天文学研究連絡委員会委員 学術会議天文研連委・委員の改選は国際天文連合会員49名(うち45名投票)の互選によって行なわれ、次の25名(3名増員になった)がえらばれた。

- 赤羽賢司・上野季夫・海野和三郎・大沢清輝・奥田豊三・柿沼隆清・古在由秀・齊藤国治・清水 彊・進士晃・末元善三郎・高窪啓弥・高倉達雄・坪川家恒・虎尾正久・長沢進午・萩原雄祐・林忠四郎・一柳寿一・広瀬秀雄・藤田良雄・古畑正秋・宮本正太郎・藪内清・弓 滋(50音順)



カンコー天体反射望遠鏡

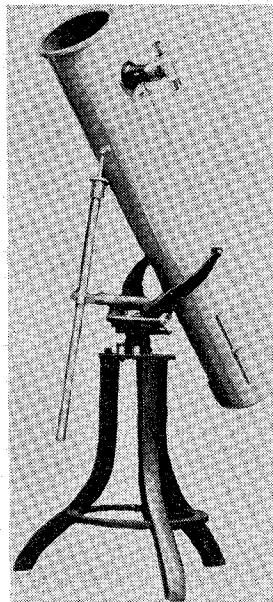


二十種CG式焦点距離二段切換
天体反射望遠鏡

- ★ 天体望遠鏡完成品各種
- ★ 高級自作用部品
- ★ 抛物面鏡、平面鏡、軸外し抛物面鏡
- ★ アルミニウム鍍金
- ★ 電源不要観光望遠鏡(カタログ要30円切手)

関西光学研究所

京都市東山区山科竹鼻 TEL 京都 09 0057



天体観測用
凹面鏡

口径 8 cm ~ 30 cm
焦点比 1:10 ~ 1:3

屈折対物レンズ

口径 8 cm ~ 15 cm
焦点比 1:15 ~ 1:11

接眼鏡

オルソー 5 mm 9 mm
ケルナー 12.5 25 40

太陽観測用

M.H. 12.5 18 25
10 cm 12. 15.

径緯台完成品
その他光学部品
金属部品

カタログ御希望
郵券30円送り下さい

有限 足立光学レンズ製作所
会社

東京都武蔵野市関前5-1185
TEL 0422 51-8614 振替 41970